

写友缶

お客様とキタムラをつなぐ
コミュニケーション情報誌

特集: **紅葉** 自然の鮮やかな秋化粧

Vol.10 Autumn

平成6年9月1日発行 季刊第10号

カメラのキタムラ広報室

〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1 ☎045-476-0777

カメラの
キタムラ®

栃木県の鬼怒川の深谷沿いには、至る所にカエデがあっ
て、秋になるとそれぞれが見事に紅葉してくれる。その
中の、美しい葉を見つけて逆光気味でクローズアップし
たもの。(栃木県塩原町)

■キヤノンEOS-1 EF80-200mm
F2.8L+中間リング 1/60 AE+2/3 RVP 三脚使用



自然の鮮やかな秋化粧 紅葉

日本の秋の風物として、その鮮やかな色彩で私たちの目を楽しませてくれる「紅葉」。自然が織りなす見事な秋化粧は、すべての人々の心を動かす美しさを放ちます。鮮烈な赤色や、閑寂な趣のある黄色など、さまざまな樹木たちが競い合う多様な個性と微妙な色合い。「錦が綾なす」と形容される、その彩りの鮮やかさ、複雑さ、繊細さには、やがて葉が落ちて冬を迎えるまでの、はかなくもまばゆい

命の輝きが感じられます。そんな美しい紅葉を鑑賞できるのは、私たち日本人だけに与えられた贅沢と言えるかも知れません。考えてみれば、赤ちゃんの手を「もみじのよな」と形容したり、大根おろしに唐辛子を混ぜたものを「もみじおろし」と呼ぶなど、紅葉にちなんだ比喩や言い回しは、私たちの日常生活の中で頻繁に使われます。さらに動

植物の呼び名にしても、木イチゴのことを「モミジイチゴ」、ヒトデの一種を「モミジ貝」と呼ぶなど、紅葉は秋の景色のみならず、日本語にも鮮やかな彩りを添えています。また、庭園や神社の樹木などは紅葉の色彩を意図して選定・配置していることや、約千三百年前に編纂された、我が国の代表的な歌集である『万葉集』に、すでに紅葉を詠んだものが多数みられることから考えても、古くか

ら日本人が景観としての紅葉を愛し、日本文化の中に、紅葉が広く深く浸透していることがわかります。今年もまた、紅葉前線が北の方から日本列島をゆっくりと下ってきます。私たちはそれを心待ちにしながら、美しい季節に出会う喜びをしみじみと感ずることでしょう。

紅葉撮影で重要なことは、いい色、いい形を見つけることである。そして、その美しい部分を、カメラを通して引き出してやること。そう思えば、どこでも紅葉写真は撮れる。(新潟県米村)
■プロニカGS-I
ゼンザノン100mm F3.5 1/30 f11 RVP PL 三脚使用



美しい紅葉のクローズアップには、望遠が有効。これは300mmの超望遠を使って撮影したもの。背景を大きくボカして、目的とする紅葉を、より印象的に表現した。(福島県猪苗代町)
■キヤノンEOS-1 EF300mm F2.8L 1/100 AE RVP PL 三脚使用

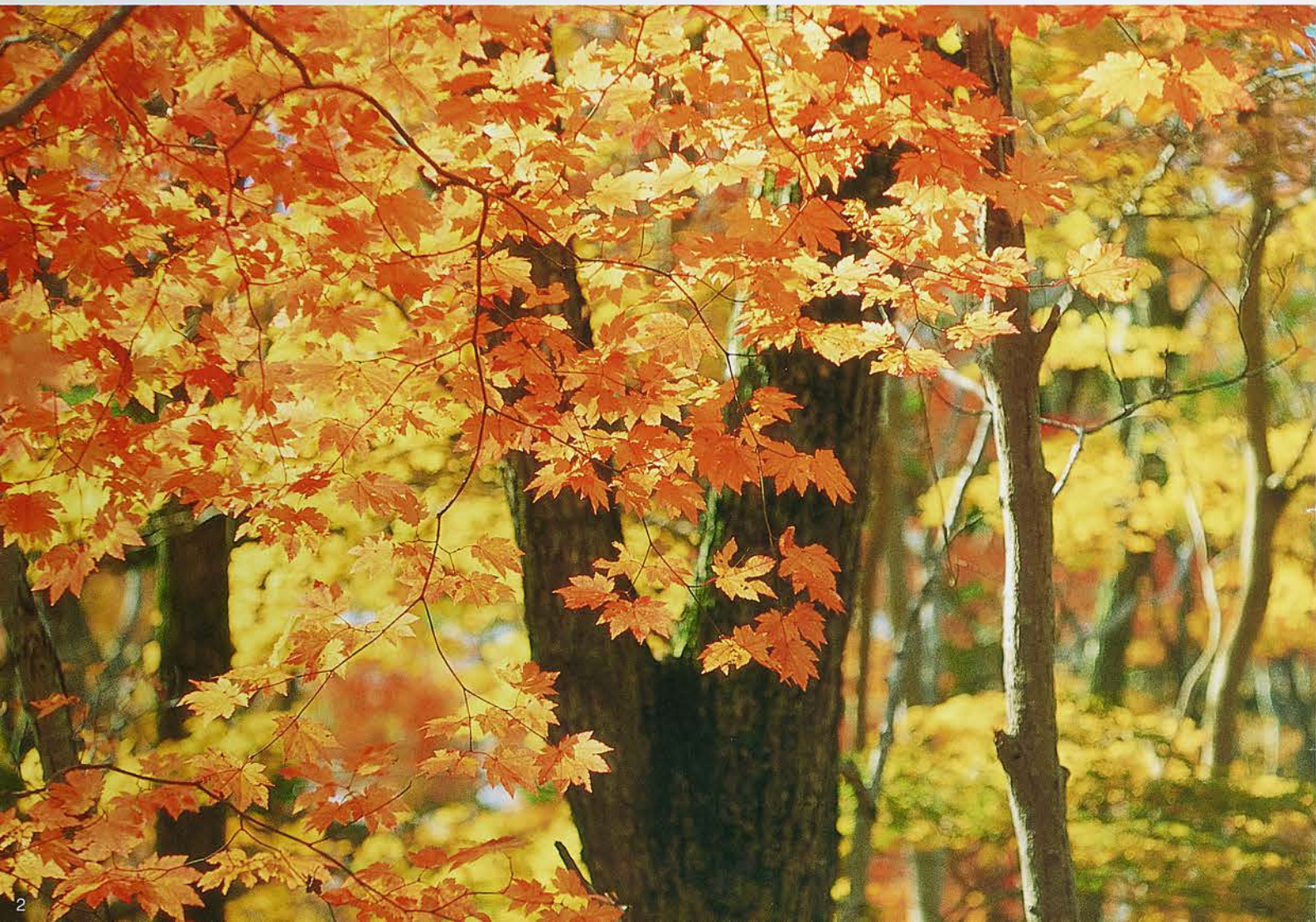


美しい紅葉も、やがてハラハラと散っていく。被写体として、この散った姿も美しい。画面をなるべく整理してすっきりと撮ることで、散った葉を印象づけるようにする。(福島県猪苗代町)
■キヤノンEOS-1 EF28-80mm F2.8-4L 1/10 AE RVP PL 三脚使用



山腹のスギ林に沿って、大きなイチョウとカエデが植えられていた。スギの緑とイチョウの黄色、カエデの紅葉を対照させて狙ったもの。紅葉と他の色と比較して見せるのも手。(栃木県塩原町)
■キヤノンEOS-1 EF300mm F2.8L 1/30 AE RVP PL 三脚使用

葉を透かしてくる光を狙うのが、紅葉撮影の常套手段。そのような場合は、十割に露出補正が必要である。この作品では、透過光の分量が少ないので+1/3程度の補正でいい。(長野県信濃町)
■キヤノンEOS-1 EF80-200mm F2.8L 1/80 AE +1/3 RVP 三脚使用



紅葉は、日本の心と 風土が育んだ景観美。

竹内敏信〈風景写真家〉

秋を象徴する景観美として親しまれ、また写真の被写体としても非常に趣の深い「紅葉」。その紅葉を題材にした作品も多い風景写真家・竹内敏信氏に、紅葉が持つ魅力や撮影時の心構えなどについて語っていただきました。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて竹内氏の作品です。

私には、日本人的な「風景写真」が合っているんです。

もともと日本人は、自然の移り変わりの中に、自分たちの人生観を見出してきた民族だと思っ
うんです。「飛花落葉」という言葉がありま
すが、春咲く花もやがて散り、青葉も秋にな
れば色が変わって落ちるといった、自然の営
みの中にある「はかなさ」に自分自身を重ね
合わせる、日本人ならではの美学のようなも
のが感じられます。

この国で生まれ育った私には、やはり写真の
題材においても、自然の景観に作者の情感を
託す「風景写真」というものが志同的に合っ
ていると思います。15年ほど前から風景を撮り続け
ています。同じ自然を題材にしても、外国
のカメラマンが撮る写真には、あまり「風景」
という視点がないように思われますね。自然
を「風景」として心情的に見つめるのは、我々
日本人に共通して備わっている感性といえる
のではないのでしょうか。

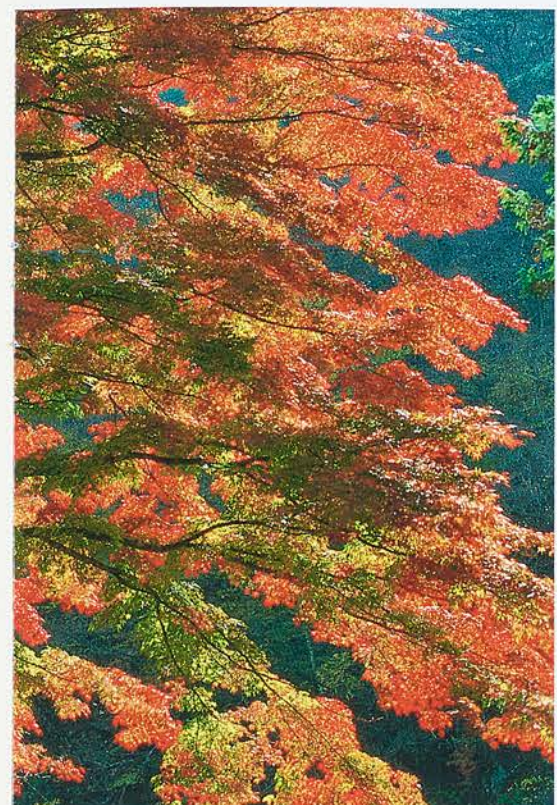
やっぱり、「日本の紅葉は世界一」ですね。

写真に限らず文学や絵画などにもいえるので
すが、「紅葉」の風景はそうした日本の感性
性にもっともマッチしたモチーフのひとつで
はないのでしょうか。私もさまざまな紅葉を撮
ってきましたが、いつも感じることは、やは
り「日本の紅葉は世界一」だということだす
ね。ご存知のように、日本列島は南北に長い
地形を持ち、亜熱帯から亜寒帯までさまざま
な風土に多様な植物が繁茂しているんです。
その中で豊富な種類を持つ落葉広葉樹が、秋
になるとそれぞれに紅葉を始めるというの
は、日本列島独特の景観だと思います。アメリ
カやヨーロッパでは、日本で「錦繡の秋」と表
現されるような複雑繊細な色合いを持つ紅葉
は見ることがないですね。ほとんどが黄色か
オレンジ色に変わるだけで、バリエーション
やコンビネーションの妙味もあまりないん
です。日本にはカエデやナカマドのように、
真っ赤に色づく葉のほか、黄・オレンジ・褐
色など、さまざまな色の種類が存在するので、



前ページのイチヨウとカエデ、スキの作品と同じ場所
撮影。レンズを変え、アングルやカメラポジションを変
えてみることで、イメージの異なった作品にすることが
可能。(栃木県塩原町) ■キヤノンEOS-1 EF 28
80mm F2.8 L 1/100 AE RVP PL 三脚使用

それぞれに個性を持った紅葉たちの競演が見
られるわけです。
さらに地形的なことという、紅葉が見られ



いい紅葉を発見しても、全体がサマになることは少ないので、
その中の一帯白い部分をフレーミングする。いい樹を見つ
けたら、ロングからクローズアップまで撮っておく。(栃木県塩
原町) ■キヤノンEOS-1 EF 80-200mm
F2.8L 1/50 AE +1/3 RVP PL 三脚使用

る所は起伏に富んだ山間渓流などが多くい
です。これがまた紅葉と絶妙にマッチして、
いわば「山谷の美」、つまり素晴らしい山の景
観を作り上げるんです。
それともうひとつ付け加えるならば、日本の
紅葉の樹自体が写真を撮るのにほどよい大き
さなのが被写体として魅力的なんです。だか
ら紅葉の写真だったら、日本人の作品が世界
一にならなければウソだと思いますね。



紅葉を撮るといのは、色が変わった葉を写すということだ
けではない。辺りの風を感じさせたり、秋のひんやりした空
気などを感じさせることも重要な要素になってくる。(静岡県
御殿場市) ■プロニカGS-I センザノン 50mm
F4 1/60 f11 RVP PL 三脚使用



これはヨーロッパ第一の観光国、スイスの著名な観光地グ
リンデルワルドの紅葉。このようにヨーロッパでは赤く色づ
く葉はなく、たいてい黄色に変色するものばかり。(スイス・
グリンデルワルド) ■キヤノンT-90 FD 80-200mm
F4L 1/20 AE PKM PL 三脚使用

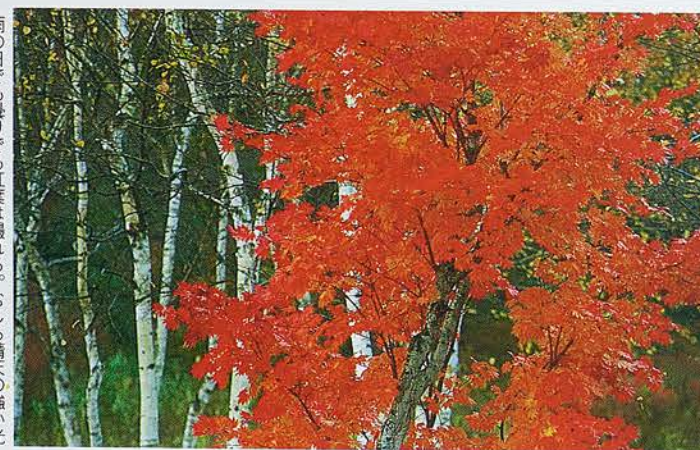
「旬」の紅葉に、自分の心情を託して撮るんです。

撮影場所としては、個人的には東北地方が好
きですが、要は美しい紅葉さえあれば、特に
名所といわれる所に限らずどこでもいいと思
います。私の場合、特に有名なポイントを狙
って行くことはまずありません。私が
紅葉を撮るのは、自分の足で探し出した、誰

も知らないような所ばかりです。ただし、そ
れぞれの紅葉が美しい「旬」の時を逃がさな
いこと、オリジナリティのある作品を残す
ための観察眼を身につけておくことが大切で
すね。一番美しいと自分が思える時に、一番
いいと思う部分だけをクローズアップして、
自分なりの心情を映し出した紅葉を撮ればい
いんです。だから、同じ紅葉を写したとして
も、撮る人によって全く違った表現になっ
て当然なんです。写真には「こう撮らねばな
らない」といった制約は一切ありません。ただ、
自分が写真によって表現したいものを、見る
人に伝える工夫や努力だけには必要ですね。

**アマチュアでも、プロに
負けない写真が撮れるんですよ。**

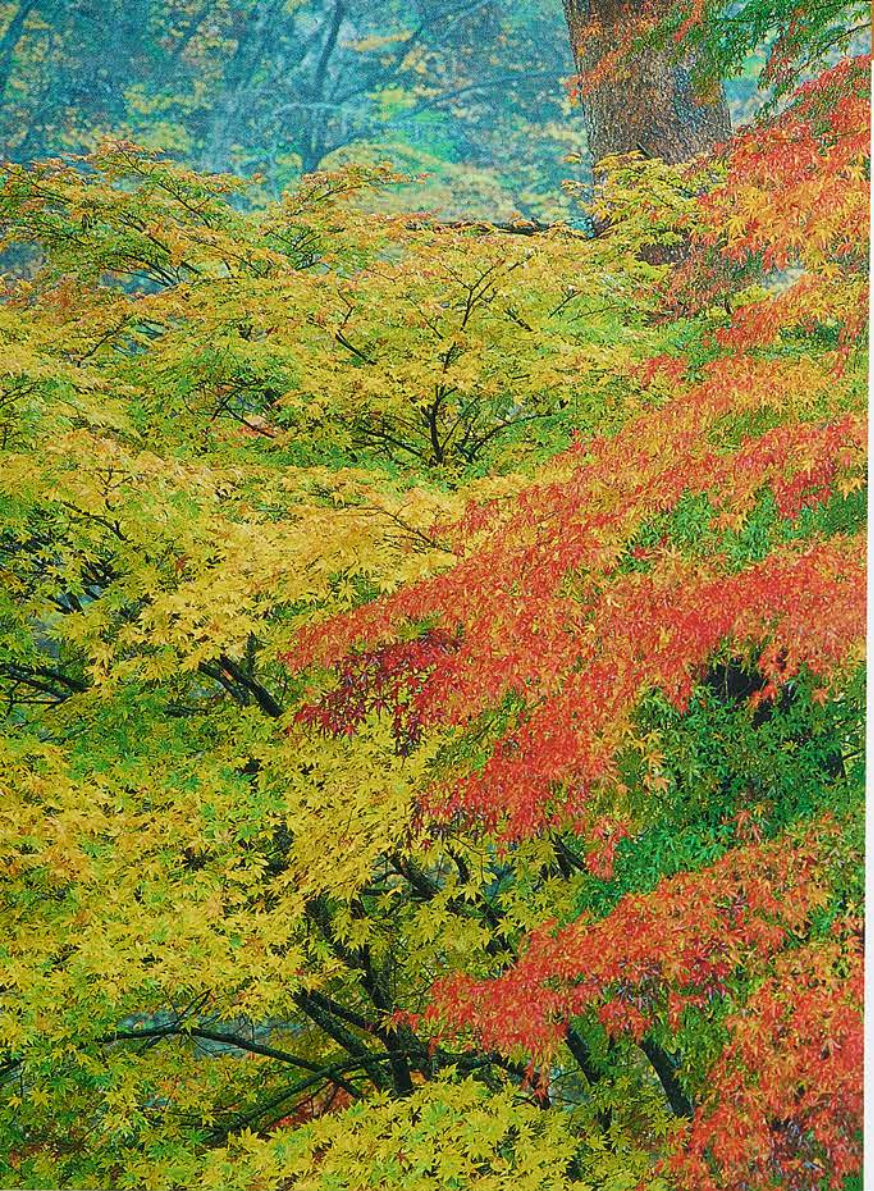
それから、アマチュアの皆さんには基本的な
技術面だけは気をつけていただきたいです。
私はこれまでキタムラ「全国紅葉前線フォト
コンテスト」の審査員をやってきましたが、
応募作品の中にはカメラぶれやピントを外し
た写真も多く見受けられました。せっかく美
しい紅葉を見つけても、それを良い作品に仕



雨の日でも曇りでも紅葉は撮れる。むしろ晴天の強い光
よりも雨天の方がしっとりとした空気が出る。紅葉は
秋の一日が勝負。出合った紅葉はその時に必ず撮ってお
く。(福島県猪苗代町)
■キヤノンEOS-1 EF 80-200mm F2.8 L
1/50 AE RVP PL 三脚使用

立てなければ意味がないのですから、今回
募される方には、最低限「三脚を使ってブレ
を防ぐ」「ピントはきちんと確認する」、
プリント時にしっかりチェックする」といった
ことには注意していただきたいですね。
こうした基本さえ守っていただければ、プロ
でもアマチュアでも、またベテランでも初
者でも条件は対等なんです。モチーフが同じ
で、機材の性能にも大差なければ、アマチュ
アがプロより良い写真を撮ることだって十分
可能なんです。写真で大切なのは高度なテク
ニックよりも、「素材選びと撮る時の視点」な
のですから。

紅葉撮影に絶対に必要なものが三つある。葉の表面反射
を防ぐためのPLフィルターと、カメラぶれを防止する
ためのしっかりとした三脚。そしていい画質を得るため
の低感度フィルム。(栃木県塩原町) ■プロニカGS-I
センザノン250mm F5.6 1/8 f11.5 RVP PL 三脚使用



キタムラがお薦めする 紅葉ポイント

ここに掲載されている撮影ポイント及び写真は
第2回全国紅葉前線フォトコンテストの入賞作品の方にご協力いただいたものです。
説明の番号は①=場所②=作者の交通手段③=時期と撮影ポイント 写真下は撮影者氏名
※ここに掲載した紅葉名所はほんの一例です。

※本州・四国・九州についてはイロハカエテ、北海道についてはヤマモミジ・オオモミジで等期日線図を表わしています。
●印はカメラのキタムラがある地域。
【ご注意】紅葉撮影時期は気温の変化で異なります。現地の情報を確かめてお出掛け下さい。
資料提供: 気象庁



12 ①大阪・吹田市青山台住宅地②地下鉄「北千里」下車徒歩5分くらいで青山台住宅地に到着。紅葉した街路樹に沿ってポイントを探しながらブラブラ歩き
③11月中旬 午前中は逆光、午後から斜光となる。



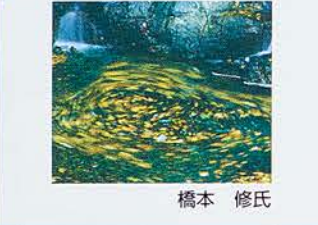
細野勝之氏

11 ①奈良・川上村中奥(白鬚山岳の中腹)
②奈良・吉野町169号線を大台ヶ原に向け→川上村→進行方向左の赤い橋を渡って中奥を過ぎてから林道へ 山頂近くに滝がある。
③11月下旬 午後1~3時頃。



今村 博氏

10 ①奈良・吉野郡川上村
②近鉄吉野線大和上市下車→奈良交通バス(約1時間30分)柏木下車徒歩
③11月上~中旬(上旬がいいかも)午前7時頃 色調の良い場所探しと光線の具合がポイント。



橋本 修氏

13 ①鳥取・大山杵水高原 杵水高原ホテル(裏の林をベランダから)
②JR山陰線米子駅下車→バス杵水行き終点下車すぐ
③11月上旬 1日中撮影タイム。



山本正幸氏

17 ①広島・佐伯郡吉和村 中津谷(ナカツヤ)渓谷
②中国自動車道吉和インター→186号線上吉和→488号線島根県匹見峠方面→左側中津谷川(県境手前200m)
③10月下旬~11月上旬 午前9時頃。



中西正巳氏

15 ①島根・仁多郡横田町 大馬木 金言寺(☎0854-53-0480)
②JR木次線横田駅下車→バス一畑バス三成行き大馬木下車徒歩4Km
③11月上旬 1日中撮影タイム。



土屋光興氏

14 ①鳥取・大山環状道路沿い 鍵掛峠より杵水高原方向2Km②岡山よりJR伯備線府中駅下車 マイカーの方が便利
③10月下旬 午前9時まで。



渋谷俊隆氏

4 ①静岡市井川 小河内地区 大井川本流②大井川鉄道金谷駅→千頭駅(アプト式鉄道)→井川駅(バス井川/御幸線)→井川・田代下車、徒歩3分
③11月上旬 標高差があるので2週間位余裕あり。



佐藤武司氏

3 ①埼玉・浦山渓谷キャンプ場浦山川付近(私有地に入れない時もあるので注意)
②JR熊谷駅→秩父鉄道→浦山駅下車、徒歩10分
③11月上旬 写真は正午前後。



高橋信子さん

2 ①栃木・竜頭の滝上流・戦場ヶ原の手前②日光駅から国道120号線 乗用車が無難
③10月上~中旬 観光客が多いので朝早め。薄曇りか日がやや射している時。タイミングと運が左右。



白瀬達夫氏

1 ①北海道・支笏湖畔 国民休暇村の自然林紅葉 近辺には千歳市街から湖畔の間と湖周辺は山紅葉が多い②JR千歳線千歳駅下車バス→支笏湖 千歳空港 空の便もある③10月下旬 太陽の位置が低いので早朝よりも午前9~12時。



横田悦行氏

7 ①石川・白山 弥陀ヶ原(標高2300m付近)
②JR北陸線小松駅下車→バス→白峰→別当出合→徒歩4時間→弥陀ヶ原③10月上旬 太陽は早朝より夕方まで当たりますが、写真は午前10時頃。薄曇りの日に撮影。



島邑 博氏

6 ①富山・立山仙人池 仙人池ヒュッテ山荘前で撮影
②立山アルペンルート 室堂より徒歩8時間
③10月上旬 午前6時頃。



米村九州男氏

5 ①新潟・弥彦公園ともみじ谷②JR上越線東三条駅→弥彦線弥彦駅下車、徒歩3分
③11月上旬 午前8~9時頃 公園ともみじ谷では1週間の紅葉スレあり。もみじ谷に日が射すのは8時頃。



伊東周平氏

21 ①熊本・菊池渓谷 この紅葉は川面に落ちる様子がきれい②熊本駅バス→菊池市バス→菊池渓谷行き 渓谷入口から徒歩1Km
③11月上旬 午前中が良い。



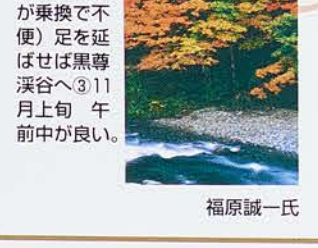
藤吉輝雄氏

20 ①福岡・太宰府市光明禅寺
②JR鹿児島本線二日市下車→タクシー10分(約千円)太宰府天満宮
③11月下旬 午前9時まで 寺の室内外は三脚禁止。



深江昭三氏

19 ①高知・幡多郡西土佐村玖木字二子松 四万十川支流黒尊川中流域②土佐くろしお鉄道中村駅→441号線を車で50分(バスあるが乗換で不便)足を延ばせば黒尊渓谷へ③11月上旬 午前中が良い。



福原誠一氏

18 ①山口・大聖寺(大内義隆の墓がある)の境内に地藏尊が彼方此方にあり 紅葉が散って色をそえる②JR山陰線長門市駅→美弥線長門湯本駅下車 徒歩1.5Km(参考=美弥線仙崎駅で北長門海岸が美しい)③11月上~下旬。



内海萬二郎氏

9 ①奈良・奈良市東大寺境内 宝珠院と中性院の間からカメラを構え大湯屋方面を撮影
②近鉄線奈良駅下車→東大寺へ徒歩15~20分
③10月下旬 午前9時頃 朝日に映えて美しい。



吉本典正氏

8 ①三重・名張市赤目四十八滝(約5Kmの行程)の渓流 乙女滝から斜滝の間の水溜まり
②近鉄大阪線赤目口下車→バス→赤目滝下車徒歩
③11月中旬 午前9時頃。



中川清造氏

カメラのキタムラ
**「第3回全国紅葉前線
フォトコンテスト」**
全国紅葉前線

作品募集のお知らせ=賞金総額400万円=

カメラのキタムラが主催する、全国紅葉前線フォトコンテストもこの秋で3回目を迎えます。紅葉をメインとした風景および、紅葉と人等、紅葉を題材としたものならなんでもOKです。あなたも、この秋、キタムラのフォトコンテストに応募してみませんか?
※詳しくは、9月上旬よりカメラのキタムラ各店で配布される応募用紙またはポスターをご覧ください。



ワンポイント 写真教室②

結婚式・披露宴はドラマだ。 ストーリーを描いてシャッターを押そう！



結婚式・披露宴の撮影で、まず注意しなければいけないのは、式の進行を妨げないこと。また、撮影が禁止されている場合もあるので撮影マナーを守ってこそ新郎新婦に喜んで撮影が必要で。

らえる写真が撮れることを忘れなく。

※カメラをタテに構える場合は、ストロボ部

※撮影時の「まばたき写真」は完全には防

結婚式で新郎新婦の表情を大きく撮りたい時
人前に出ての撮影が多くなります。照れくさ
さや怖さがありますが、緊張せずに心を落し
つけて、手際の良い撮影を心掛けましょう。

※カメラをタテに構える場合は、ストロボ部
分を上側にすれば、新郎新婦の表情が暗く
ならず写せます。新郎新婦がそばを通る
時などに活用しましょう。

※セルフタイマーを使って集合写真を撮ると
きは「シャッターが切れる前に音が鳴る」
「赤いランプが点滅する」などカメラの特
徴を伝えておけば、全員のカメラ目線がま
とまります。



ヤンスです。
撮影ポイント③「集合写真編」
集合写真
「撮ります」と声をかけて！

結婚写真を何気なく撮るのではなく、全体の
雰囲気を出す為に、式場の全景や案内看板、
入口風景、式前の談笑など、一連の流れにそ
って撮影すると結婚式の良い思い出の記録に
なります。デイト・タイム機能付きのカメラ
があれば写真を整理する時も簡単です。

※ストロボで続けてシャッターを押しても発
光準備がされていません。ストロボ撮影間
隔に注意しましょう。

撮影ポイント①コンパクトカメラ編
ストロボを使って3メートル以内！
が初心者鉄則

撮影ポイント②二眼レフ編
ベテランはアングルにこだわって。
雰囲気あるノーストロボにも挑戦！

※室内での撮影は、感度の良いフィルムを選
びましょう。(ISO400が適当です。)
※ズーム付きのカメラで新郎新婦を捉えても、
ストロボの光が届かずに暗い写真になる場
合があります。カメラに付属しているスト
ロボでは3メートル以内と心得ましょう。

※被写体にスポットライトが当たっている時
にはノーストロボで雰囲気を捉えた味のあ
る写真を狙ってみましょう。また、スポッ
トライトが移動して被写体が逆光や半逆光
になる場合は、ノーストロボでもストロボ
使用でも、いい写真が撮れるシャッターチ

撮影にレジャーに。高い機能がうれしい カメラバッグ



カメラバッグの種類はとて豊富。撮影だけ
でなく、旅行やハイキングなどにも便利なタ
イプから、どんな撮影状況でも耐えうる多収
納タイプまで、目的に合わせて、いろいろ選べ
ます。このコーナーでは、代表的なカメラバ
ッグの種類をご紹介します。

フ所有の方に最適なカメラバッグといえます。
【ハードタイプ】
アルミやジュラルミンなど、保護性の高い材
質を使用しており、一連の撮影道具がほとん
ど収まる収容力があります。丈夫に出来てい
るので、観客の多い催しの際には脚立として
また、被写体を長時間待つ場合には椅子とし
て活用でき、便利です。

主にサブバッグとして使用され、フィルムや
小型ストロボ、フィルターなどの撮影小物を
入れる時に活用されます。コンパクトカメラ
の収納も可能ですので、ちょっとした行楽に
も便利です。

◎バッグを選ぶポイントと注意点
目的に応じたタイプを選ぶことは当然ですが、
材質にも気を使いたいです。不意の雨にも安心して使える防水加工が施さ
れたものや弾力性があるしっかりとした仕切
りのあるものが丈夫で長持ちするカメラバッ
グです。

【手持ちソフトタイプ】
シヨルターやリュックを兼ねるタイプが多く、
人気の高いカメラバッグです。
メイン収納部には仕切りがありますが、適当
に折ってスペースの広さを調節したり、不要
な時は取り外しできるタイプがほとんどで、
応用が非常にきまます。リュックを兼ねるタ
イプは、両手が自由に使える、登山撮影等にも
便利です。

また、ご注意いただきたいのは、保管ケース
代わりにカメラバッグの中にカメラを長い間
放置しないこと。いくら防水加工の施されて
いるバッグでも一度濡れたりすると中に湿気
がこもり、カメラ、レンズにサビやカビが出
やすくなります。カメラ、レンズは防湿庫に
保管しましょう。



写真提供 JCI
JCI (財団法人・森山
真弓館長) 東京都千代田区
一番町) 写真の発展に尽力
カメラ博物館、写真図書館、
ギャラリー、貸しスタジオ
など文化施設も保有。「よ
みがえる百年前の写真展」
を毎年11月頃開催。今年
はParisになる。



フジ スーパーG400

フィルム感度と撮影の今昔

知って得する 写真おもしろ話②

フィルムのパッケージに書かれているISO
100や400の数字の意味をご存知ですか？
実はこの数字は感度を表したもので、数字が
大きいほど、光に対して敏感で暗い場所でも
撮影できるという数値のことなのです。

また、焼付も太陽の光を利用して印刷紙に焼
き付けるのですが、すぐに焼き付けなければ
ならない為、暗室をカメラのそばに置いてい
たそうです。

最近ではフィルムの性能も進歩して、昔では
考えられなかった撮影が可能になり、肉眼で
は捉えられない世界(川の流れなど)でも撮
れるようになりました。

撮影する側も大変ですが、撮られる側にもい
ろいろな苦労があったようです。
フィルム感度が低いために、何十秒とカメラ
の前でジッと動きを我慢しなければならな
ったため、対策としてアゴを乗せる台とか、
背中を固定するための杭を使ったりしたそう
です。

それから考えれば現在のフィルムの進歩には
感謝したいものです。

お便りコーナー

前号でお便り募集を告知したところ、多くの読者からお便りをいただきましたので、その中から一部をご紹介します。

たくさんの作品（動物写真コンテスト）の中から選んでいただき、ありがとうございました。母は雑誌に作品が載ると、今から楽しみにしています。年若い母のうれしそうな顔を久しぶりに見せてもらいました。

松本タミコ様と御家族一同様 奈良県橿原市

「動物写真コンテスト」優秀賞の通知をいただき、誠にありがとうございます。私ながらシャッターチャンスも良かったので、入賞の200名には、との自信もあったのですが、まさか優秀賞とは思っていませんでした。次回も頑張ります。

杉山元次様 静岡県静岡市

初めてのコンテスト応募（桜前線フォトコン）で入賞となり、大変喜んでおります。写真の勉強を始めてまだ日も浅く、なかなか思うような写真が撮れません。とにかく、多くシャッターをきり、その中の1枚が入賞できる作品となりました。さらに上を目指して勉強したいと思っております。

相沢有司様 埼玉県深谷市

今年の秋は、大相撲秋場所を観戦に行くのを楽しみにしています。両国国技館で観る大相撲は感動と興奮の連続です。貴ノ花が横綱になっていれば、土俵入りも見られるのですが……。土俵のそばで観る大相撲は最高です。いつも300~500枚も写真を撮ってしまいます。

服部直記様 鳥取県米子市

お便り募集

次号のテーマ：「私の年末・年始の過ごし方」

このコーナーでは、毎回季節のテーマを設けて皆様のお便りを募集しています。

次号のテーマは「私の年末・年始の過ごし方」。クリスマスやお正月など、楽しい行事が目白押しなうえ、学校や職場もお休みになるこの時期、あなたが毎年恒例にしている過ごし方や、各地方のユニークな風習などがありましたら、ぜひ誌上でご紹介ください。

また、このテーマ以外でのお便りやお写真、本誌に関するご意見・ご要望なども募集中です。

お便りはハガキ・封書またはファックスで、

〒222 横浜市港北区新横浜2-4-1

カメラのキタムラ広報室 友友伍「お便り募集コーナー」係
(ファックス番号 045-476-0778)

までお送りください。読者の皆様からのたくさんのお便りをお待ちしております。

編集後記

アウトドア派には「行楽の秋」、写真好きには「芸術の秋」、というわけで、美しい紅葉を見物したり、写真に撮ったりするのはこの季節の大きな楽しみですね。（もみじ饅頭やもみじおろしで「食欲の秋」だって声もまわりから聞こえてきますが……。）今回、特集ページでは、紅葉の写真も多く手がけておられる風景写真家・竹内敏信氏にインタビューをお願いしました。その時のお話で印象的だったのは、「私たちが秋になると眺めている紅葉の美しさは、外国にはない日本ならではのもの」だというお話。日本の気候や地形、そして私たちの紅葉をめぐる気持ちなどが重なり合って、最高に美しい紅葉を醸し出していることに、あらためて気づかされるとともに、「日本人に生まれた幸せ」をちょっぴり感じることができました。皆さんも、美しい紅葉を見かけたら、ぜひカメラに収めて、「全国紅葉前線フォトコンテスト」にもチャレンジしてみたいかがでしょう。

かわいさあまって、大募集！ ペット・動物ふれあい写真コンテスト

入選作品発表！

約3,000点にもなる応募総数の中には、ヤング層、主婦層からの応募も多く、幅広い層から作品が集まりました。

最優秀グランプリ <1名>賞金10万円と楯



「なかよし」

森田和雄様(埼玉県坂戸市)

写歴11年の森田氏は「自然の流れの中でモデル(娘と甥)にカメラを意識させないことが撮影のポイント」と語っています。*撮影データ☆日時=6月、昼間☆場所=狭山市智光山公園☆カメラ=ニコンFE2☆レンズ=ズームレンズ(撮影を意識させない、背景の処理が便利=森田氏)

この「ペット・動物ふれあい写真コンテスト」で入選した中から、 最年少カメラマン、最年長カメラマンにご登場をお願いしました。

最年少カメラマン=中島千香さん(13才)岡山県津山市 作品題名「田舎育ちのアップちゃん」



千香さんが飼っている鶏で、「見かけもかわいい、ほかの鶏よりもなついている」ところがお気に入りの理由だそうです。アップちゃんが小さかった頃、妹さんと「白つめ草の輪をたくさん作り、アップちゃんめがけて輪投げ遊びをした仲間」とのこと。

最年長カメラマン=内海萬二郎さん(75才)山口県下関市 作品題名「何処へ行くにも」



奈良へ旅行に行かれた時「偶然、知り合った旅行者の方が連れて歩いているのをスナップ。その時、どこへ行くにも連れて歩いているのを聞きした」とのことと題名を「何処へ行くにも」とつけられました。若い頃から写真が好きで、最近では、地元の「先帝祭」の写真コンテストで一番を獲得し、今回の入賞も「たまたまでラッキー」と謙遜しておられました。

キタムラ・インフォメーション

キタムラおすすめ、高性能レンズ

一眼レフに装着するレンズ群の中で最近、従来のレンズに比べ高価なレンズ(高性能レンズ)が販売されています。通常のレンズは、より多くの方に使用していただくために、手頃な価格を設定して開発・生産していますが、高性能レンズは撮影に良いと考えられる条件を可能な限り盛り込んで開発されているのです。非球面レンズの開発、表面へのコーティングの高度化、新しいガラスの採用、また像の歪み、色収差の補正を徹底的に採り入れるために通常のレンズよりもコストが高くなっています。

カメラマンの感じたイメージを忠実に再現させるために各レンズメーカーが技術の粋を集めて開発している高性能レンズ。ここでは主な高性能レンズの開発指向、特長をご紹介します。

ペンタックスFAズーム



ペンタックスFAズーム
80~200mm F2.8 ED (IF)

メーカー希望小売価格 ¥210,000

ペンタックスFA24mm F2.8 AL (IF)

ゴーストやフレアー対策を図り、大口径F2の明るいいレンズですが、開放絞り時における奥の深い表現力が魅力です。被写体に接近しての風景や静物背景のボケを効果的に利用できます。

メーカー希望小売価格 ¥77,000

キヤノンEF 80~200mm F2.8 L



キヤノンEF 80~200mm F2.8 L

Lレンズシリーズは一眼レフEOSの性能を十分に引き出すシステムとして、機能・性能をフルに活かすために開発されています。インナーフォーカス方式採用によりAFの高速化を実現しました。

メーカー希望小売価格 ¥168,000

キヤノンMFL 50mm F4 L USM

望遠レンズの機動性を重視したコンパクトなレンズです。シャープな描写と美しいボケが得られる光学性能。超音波モーター、リアフォーカス方式により、静かさと高速AFを実現しました。

メーカー希望小売価格 ¥149,000

ニコンAi AFズーム Nikkor ED 80~200mm F2.8 D

光学ガラス製造からレンズの設計・研究・開発まで一貫生産。Dタイプ(被写体までの距離情報をボディに伝える機能を内蔵)の導入により測光・測光の精度を高めている。

メーカー希望小売価格 ¥128,000

ニコンAi AFズーム Nikkor ED 80~200mm F2.8 D



ニコンAi Nikkor ED 180mm F2.8 (IF) (New)

特に開放絞りで使われることを想定してシャープな描写性を発揮。近距離撮影時にも優れています。ポートレートからスポーツ写真まで多用途に対応できます。

メーカー希望小売価格 ¥90,000

ミノルタ(Gシリーズ)レンズ ハイスピードAFアポテレスズーム 80~200mm F2.8 G



ミノルタ【Gシリーズレンズ】
ハイスピードAFアポテレスズーム
80~200mm F2.8 G

合焦速度の高速化、AF時の機動性を図っています。全域で高コントラスト、色鮮やかさを追求しました。開放絞り付近では円形に近い形状になって夜景などの点光源を美しくボカすことが可能です。

メーカー希望小売価格 ¥190,000

ミノルタ(Gシリーズ)レンズ AF 85mm F1.4 G

最近接から無限まで画面全体にわたって解像度の高い映像が得られます。F1.4と明るく、スポーツの速い動き、舞台などの暗い場所でも威力を発揮します。

メーカー希望小売価格 ¥98,000

ペンタックス バリオ・ゾナー*

望遠で使用頻度の高い焦点距離をカバーします。どの焦点距離でも忠実なコントラストとカラーバランスが実現します。200mm領域では倍率1...3.3のマクロ撮影も可能です。

メーカー希望小売価格 ¥128,000



ペンタックス バリオ・ゾナー*
80~200mm F4

コンタックス デイスタゴンT*

フロント方式により周辺部の画質を低下させずに18cmまでの近接撮影が可能です。非球面レンズを有効に活用していることでF1.4時でも優れた画質を形成します。

メーカー希望小売価格 ¥168,000

第2回 全国桜前線 フォトコンテスト 入選作品発表!!

全国桜前線フォトコンテストも第2回を迎え、約9,000点にもものぼる応募数がありました。

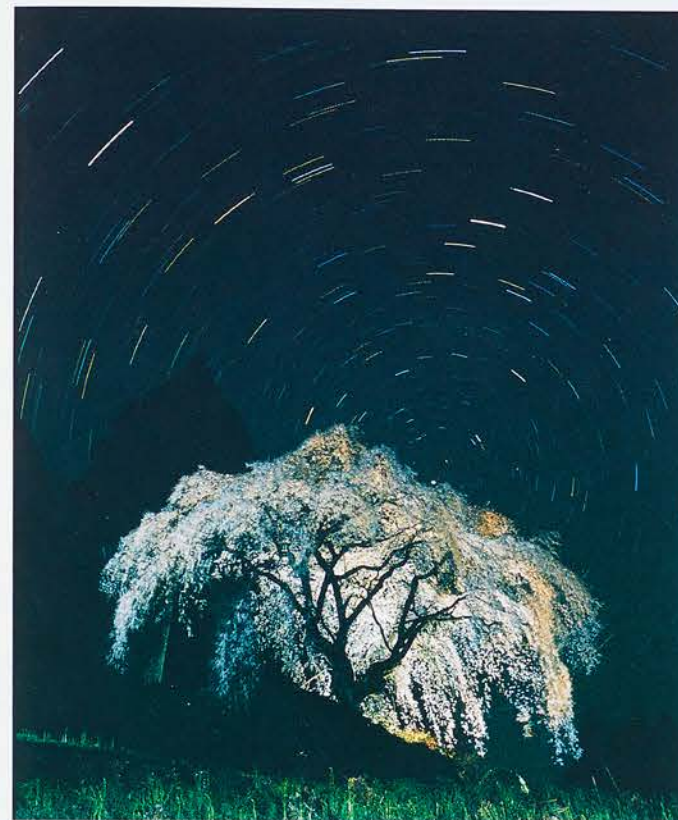
総評

審査してみて、全国にこれほどバラエティに富んだ様々な桜があるものかと改めて感じました。応募作品に関しては、単に桜の咲く様子を撮ったのか、それとも桜という被写体に自分の考えや気持ちを込めて撮ったのかが重要なポイントで、入選作品には、モチーフである桜の中に、自分の思いを表現しようという力強さが感じられました。技術的な事でいうと、せっかく良い構図を決めておきながら、三脚を使っていないのかブレが目立ったり、絞りが足りなくて奥までピントが合っていないといった、残念な写真も見受けられました。そのほかライティングやバックの状況などにも気を遣っていただき、よりレベルアップした作品の応募を次回は期待します。

フォトコンテスト審査員 川口邦雄氏



1932年生まれ。
山登りはアルピニズムを志向し、積雪期の国内外の登山を数多く経験。
1964年写真作家として独立。
現在は国内外の素晴らしい自然を取材して、情報メディアに発表・紹介に努める。
■主な著書：「日本の山」「山歩きの楽しみ」「実戦・山岳写真」「南極」など。



最優秀グランプリ
<1名>
賞金30万円と楯

「星彩」

横田康治氏(高知県高知市)



横田康治さんを堺町店竹内店長がインタビュー

竹内店長 撮影場所はどちらでしょうか？
横田さん 高知県高岡郡仁淀村別枝、別枝郷の旧庄屋跡、中越家の庭内です。
竹内店長 作品の狙いは？また狙い通りの作品となりましたか？
横田さん 地球上、大地に大きく根を張った樹齢170年余りの枝垂れ桜と宇宙空間との【次元と時間差】の融合を狙ってみました。この桜の木を10年近く撮影していますが、何枚写しても各々違った顔を見せてくれる『自然』に驚いています。今回は新しいフィルムを用いた結果、星々の変化に富んだ色彩が良く再現され、作品を引き立たせたと思います。
竹内店長 撮影時に苦心された点は何ですか？
横田さん 長時間露光のため、相反則不軌やフィルムラチチュード、カラーサーキュレーション等、階調とカラーバランスに注意し、また特に夜空がグリーン系にならないように、真っ暗く、星を引き立たせる露出と増感処理、桜に投光するライトの時間量と強さに苦心しました。

上位入選へのアドバイス (佳作2作品について、川口審査員に作評をうかがってみました)



「八重咲くころ」 立野 栄次氏の作品

八重桜と新緑、富士山がほぼ同じ大きさです。三すくみになってそれぞれの魅力を喰いあいしています。桜は良い色をしているのですが、新緑の強さに負けています。この撮影位置より2~3歩左へ寄せた方が良かったと思います。また富士の雪が露出オーバーで飛んでいるのも残念です。もう少しワイド系レンズで、富士の露出オーバースペースを小さくすると全体的にまとまった写真になります。



「惜春」 岩井 正晃氏の作品

桜を大きく取り入れているのですが、手前の田越しの土が多すぎます。カメラをもう少し上向きにして地面を少なくすると、バランスの良い写真になり桜がもっと生きてきます。タテ位置のフレームは有効でしたが、望遠をちょっと効かした方が良かったと思います。